

1 改訂の基本的な考え方

- (1) 基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な習得
単に理解しているか、できるかだけでなく、それらをどう使うか、さらにどのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るかといった、他の資質・能力の育成を見据えた、その確実な習得が求められる。
 - (2) 「社会的な見方・考え方」を働かせた「思考力、判断力、表現力等」の育成
単元など内容や時間のまとまりを見通した問いを設定し、「社会的な見方・考え方」を働かせて考察、構想する学習を一層充実させることが求められる。
- Point** 中学校社会科において、「社会的な見方・考え方」は、各分野の特質を踏まえて、「社会的事象の地理的な見方・考え方(地理的分野)」、「社会的事象の歴史的な見方・考え方(歴史的分野)」、「現代社会の見方・考え方(公民的分野)」の三つに整理されている。
- (3) 主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度の育成
持続可能な開発のための教育(E SD)や主権者教育などについては、引き続き社会科学習において重要な位置を占めており、子供たちに平和で民主的な国家及び社会の形成者としての自覚を涵養することが求められる。

2 目標の改善

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

Point 社会の変化に伴い、中学校社会科の学習に求められる状況などを踏まえ、改善を図っている。柱書部分にある社会科が目指す究極のねらいに当たる文言については、小学校、中学校とも共通の文言にしている。

3 学習内容の改善・充実

社会における今日的な要請から、小学校との接続を図って、中学校においても「伝統・文化等に関する学習」を引き続き深めつつ、「主権者の育成」、「防災・安全への対応」、「海洋や国土の理解」、「グローバル化」、「産業構造の変化」、「持続可能な社会の形成」等に対応した内容について、改善・充実を図っている。

【各分野で特筆される改善事項】

- (1) 地理的分野では、「世界の諸地域の学習」において地球規模の課題等を主題として取り上げた学習を充実させるとともに、防災・安全教育に関して空間情報に基づく危険の予測に関する指導を充実させる。
- (2) 歴史的分野では、我が国の歴史的事象に間接的な影響を与えた世界の歴史の学習についても充実させるとともに、民主政治の来歴や人権思想の広がりなどの動きを取り上げる。
- (3) 公民的分野では、防災情報の発信・活用に関する指導、情報化など知識基盤社会化による産業や社会の構造的な変化やその中での起業に関する扱い、選挙権年齢引き下げに伴う政治参加等に関する指導を充実させる。

4 学習指導の改善・充実

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指すこと
これらの学びは、社会科ならではの「問い」を基に、「社会的な見方・考え方」を働かせる中で、社会的事象に関わる課題を追究したり解決したりする活動等によって実現できるものである。

Point 資料等を有効に活用して論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして議論したりするなど、社会科ならではの言語活動に関わる学習を一層重視することが大切である。

- (2) 主体的に調べ分かつようとして学習に取り組めるようにすること
主たる教材である教科書とともに、「新聞や公的機関が発行する資料等」や「博物館や資料館、図書館などの公共施設」、「コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段」の活用の推進を図り、そこから現実の社会的事象に関わる教材を見いだすことが重要である。

Point 各学校においてカリキュラム・マネジメントに努める観点から、社会科の教育内容と生徒の生活舞台にある人的・物的資源等を適切に、効果的に組み合わせることが大切である。